

平成30年度 第1回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日 時：平成30年7月4日（水） 15：10～16：40

場 所：小山市健康医療介護総合支援センター 研修室2

出席者：塚田錦治委員長、佐田尚宏委員、渡邊カヨ子委員、星法子委員、岸野康之委員

【新小山市市民病院】

島田和幸理事長、折笠清美看護部長、坂田普事務部長、石橋英俊事務部副部長、阿部行博総務課長、島田守医事課長、関彰経理課長、石田陽介総務係長

【事務局（保健福祉部健康増進課地域医療推進室）】

新村利昭保健福祉部長、大保寺和子健康増進課長、雲井富雄地域医療推進室長、砂山俊之医療政策係長、関口律子医療推進係長、鈴木由佳主事

欠席者：生井貞夫副委員長

会議経過：

1. 開会

発言者	内 容
事務局	皆様本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。只今から、平成30年度第1回地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会を開催いたします。よろしく願いいたします。 それではお手元の次第により進めさせていただきます。始めに委員長よりご挨拶をお願いします。
2. 委員長あいさつ	
委員長	本日は第1回地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会にお集まりいただき誠にありがとうございます。新小山市市民病院も急激な改善を求められいよいよプラトーに差し掛かってくる時期です。ここから本領が発揮される時だと思えます。今日は実りあるご審議をお願いしたいと思えます。
事務局	ありがとうございました。 続きまして、今年度初めての会議ということもありますので、委員の皆様から、お一人ずつご挨拶をお願いいたします。名簿順をお願いします。
評価委員	自己紹介
事務局	ありがとうございました。なお、委員につきましては都合によりご欠席とご連絡をいただいております。 次に、新市民病院から島田理事長はじめ8名の職員に出席していただいておりますので、自己紹介をお願いいたします。
新市民病院	自己紹介
事務局	ありがとうございました。続きまして、事務局の自己紹介をさせていただきます。
事務局	自己紹介
事務局	議事に入る前に本日の資料について確認させていただきます。先週委員の皆様から資料1から7までと、資料3については補足として貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書お送りいたしました。不足はございませんでしょうか？それと本日皆様の机の上に追加資料として、開催スケジュールと正誤表を置かせていただきました。ご確認をお願いいたします。 それでは、委員長に今後の議事の進行をお願いいたします。

委員長	それでは、まず、会議の公開非公開について、昨年同様、個人名・その他不都合であること以外については、原則公開としたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか？
	〈異議なし〉
委員長	では、議事に入ります。議事の『(1) 平成30年度 評価委員会等開催スケジュールについて』事務局の説明を求めます。
3. 議事 (1) 平成30年度評価委員会等開催スケジュールについて	
事務局	<p>お配りした開催スケジュールをご覧ください。今年度の評価対象は、第2期中期目標、中期計画期間の初年度ということで、平成29年度の業務実績に係る評価のみとなっております。昨年度は単年度評価の他に、第1期中期目標期間の実績評価を行い会議も3回開催しましたが、今年度は単年度評価のため2回の開催を予定しております。</p> <p>本日、第1回目ですが、この後新小山市市民病院から平成29年度の業務実績について説明させていただきます。その後、委員の皆様からご意見ご質問をお受けするという形で進めていきたいと思っております。それを踏まえ、委員の皆様には、資料4の評価シート、こちらは小項目ごとの実績評価となりますが、このシートに評価をご記入いただき来週11日頃までにご提出頂ければと思っております。</p> <p>また、本日の会議終了後にもしご質問したいこと等がございましたら、来週月曜日の9日までに事務局までご連絡ください。当方で新市民病院に確認しご報告させていただきます。</p> <p>皆様から頂いた評価シートを事務局でとりまとめ、18日に開催する第2回目の会議の時に、もしくはそれまでにご報告いたします。会議ではその集約した資料を元に評価委員会としての評価を決定し、併せて総合的な評価についてご意見を賜りたいと考えております。</p> <p>なお、最終的な評価結果について、本来であれば会議の場で皆様にご承諾を頂くべきではありますが、大変恐縮ですがメールやFAX等でご意見を頂くとともに、委員長ともご相談の上、評価委員会としての見解をとりまとめたいと思っておりますのでご了承頂ければと思っております。</p> <p>その後、27日には委員長、副委員長から市長に評価結果の報告をして頂き、8月8日には市議会に報告をしたいと考えております。</p> <p>以上、スケジュールについてご説明しましたが、事前に配布させていただきました資料の他に、もし追加資料が必要になった場合は、その都度用意させていただきますので宜しく願いいたします。</p>
委員長	只今の事務局の説明について、委員の皆様からご質問はございますか。無いようですので、議事『(2) 平成29年度 事業報告書及び財務諸表等について』事務局のご説明をお願いします。
3. 議事 (2) 平成29年度事業報告書及び財務諸表等について	
新市民病院	『資料1』『資料2』及び『資料3(追加資料含む)』説明
委員長	ありがとうございます。 それでは、(2) 事業報告書についてご質問ご意見をお願いいたします。
委員	今年働き方改革について、機能を落とさずいかに取組んでいくかということがあり、新市民病院と自治医科大学とお互いに協力し合っているところですが、

	自治医大からの支援について期待通りに行われているのか、それとももう少し支援が必要なのかご意見いただければと思います。
新市民病院	救急医療に関しまして、ご支援をいただきありがとうございます。医師の働き方改革に関連して、かなりの職員は疲弊を感じていると思います。自治医科大学からの情報もいただき、いかにして医師の働き方を過労に陥らないよう且つ質を落とさないようにしていくかと思っています。いくつかの部分でまだ自治医大のご支援をいただかなければいけないところが多々ありますので、今後ともお願いしたいと思います。
委員	新小山市民病院からの紹介のあった救急患者さんについて、大体は受け入れていると思いますが、我々協力しながら地域の救急を考えていかなければならないと思いますので、ご要望等あればおっしゃってください。
新市民病院	ありがとうございます。 それから、宇都宮済生会病院からも産科医療に関して色々ご支援をいただいているところです。この場を借りて感謝申し上げます。
委員長	医療安全対策委員会を開催されておられますが、これは患者に対してだと思えますが、医師並びに看護師等や病院スタッフについて長時間残業の把握はされていますか。医療安全衛生委員会など実施しておられますか。
新市民病院	医療安全衛生委員会も含めて備えるべきところは備えています。労働時間に関してどこも難儀しているところがあり、とにかく労働時間の把握、例えば病院の出入り時間の把握をしっかりとしたいと計画を立てています。その後どういう風に労働時間を管理していくかまだ考えあぐねているところです。早急に対応しなければと。一つは当直した後の翌日の勤務体制から考えていかねばと思っています。国の動向をみながら、また自治医大や他の病院を参考にしながら対策していこうと思っています。
委員長	我々医療人の長時間勤務は異常と感ずることもありますし、それでいてクリアしなければならぬハードルがあります。ぜひ新しい新小山市民病院のようなところがイニシアティブをとって発信できるようなことがあったらありがたいと思います。他委員の皆様ご意見いかがでしょうか。
委員	財務諸表と事業報告を聞き、とても良い結果が出ていると感じました。これだけ救急を受けて多忙な状況で職員の疲弊感がどうだろうと思ったときに、職員満足度等は調べていらっしゃるでしょうか？もしくは今後職員のモチベーションを上げるための対策や評価をすることについて何かお考えでしょうか。
新市民病院	職員満足度につきましては、コンサルタントのご支援をいただきながら実際にアンケートを実施したいと。それとワークライフバランス推進委員会や労働組合等を活用、協力しながら進めていければと思っています。年1回、自分の勤務環境や給与に対して満足しているのか調査する方向で考えています。
委員	事業報告書の中で、地域包括ケア病床を入れているということですが、それは病棟単位なのか病床単位なのか教えてください。あと、今、一般急性期で二次救急をやっていると思いますが、今後地域包括ケア病床を入れたあとどのように病床を展開していくのか教えてください。
新市民病院	地域包括ケアは当病院300床のうち44床の1病棟となっています。地域包括ケア病棟に入院する患者は一般病床からの転床がほとんどです。在宅からの救急患者が直接地域包括ケア病棟に入院することは稀です。一度一般病棟に入ってからとなっています。今後の方向性については、このような対応が許されるうち

	<p>はこのような形でいけると病院運営上スムーズにいきます。患者さんにとっては、症状が安定したら病床を移るといふご不便をおかけしますが、病院としてはケアという部分でもF S Tといふて普通のリハと違ふて生活復帰を目標した訓練ができこの病棟を中心に多職種が連携できますので、とりあえずケアミックス的な進み方に近いなと考へています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。事業報告と財務の報告をいただいた中で少し気になったのは、病院あるいは施設から家に帰していこうとケアミックス的なものになり患者さんなどが流れていくのはごく自然な流れで、一方で新市民病院が急性期の期待や超急性期との連携の期待がある中で、国の診療報酬の動向やケアミックス的なものの方が有事であったり、患者さんの在宅復帰により適しているという理由でそちらにもっていくと、地域のニーズにこえられないことが出てくると、非常に大変な立場におありだと思ふのでこの先どのような構造にしていくかと思つたところです。</p>
委員長	<p>他委員の皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>人間ドックについて、これは収入増に繋がるどころだと思ふますが、人間ドックは順調に増加しているところですが、心臓ドックやレディースドックは計画値に達していません。今後はどのようにお考へですか。</p>
新市民病院	<p>レディースドックにつきましては、年度当初の予約受付で電話が繋がりにくく予定数を確保できなかった部分がありました。今年度は予約について改善したのですが、婦人科医の兼ね合いがあり週1回しか実施できないというところがあります。心臓ドックにつきましては、各企業を訪問して周知はしているところですが中々数に結びついていないところですが、しかし、人間ドックと脳ドックについては当病院のキャパをこえる実施数で取組んでいます。</p>
新市民病院	<p>我々は病院の中で人間ドックを実施しています。診療と平行して実施しているものですからそう数は取れないのが現状です。基本戦略としてはひとつひとつの単価を上げるということでお考へしております。</p>
委員長	<p>宜しいでしょうか。それでは、次に財務諸表を中心に何かご意見をいただければと思ふます。</p>
委員	<p>気になるところとして、給与費のところでは2億3,100万円増えた部分がありますが、常勤のドクターが4名、看護師が15名の計19名で1.5億円くらい人件費増になったのかなと試算したのですが、残り約8,000万円は常時経常的に増加していくところなのではないでしょうか。</p>
新市民病院	<p>昨年度については昇格者が多数出た影響があり、通常昇給よりも高くなつたというところがありました。その他、臨時職員から正職員になつたというところも費用の上乗せの要因です。病院職員の給与体系について検討し、昇給時と昇格時のあり方について他病院を参考にしていきたいと思ふます。</p>
新市民病院	<p>補足ですが、給与費2億3,000円増えておりますが、委員のご指摘のとおり給与、手当、法定福利費の増え方は1億5,000万円程度でございます。ただそれ以外に30年度の費用の前倒しという部分で賞与引当金の金額が約4,000万円程度増えたことと、退職給付費用についても約3,000万円程度増えたことが影響してそのようになっております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。今後も出続ける経常的なものがどこで、止められるものがどこか検討していくのは、財務的なコントロールとして非常に大切なこととあります。それと、労務管理について、医師4名、看護師15名増えたことがど</p>

	<p>ういう風に、財務や患者の受け入れ体制にちゃんと反映しているのかそれを確認しながら運営していただきたいと。病院としては医師が増えて良かった、けれど、その医師がどこでどう働いているか把握できないことも多くて、ぜひ事務局の冷静な目で見ていただければと思います。</p> <p>あと、人間ドックについて診療をやる中で実施されているということですが、人の導線がきちんと効率的に機能しているか、おそらく長いテーマになると思いますがぜひ確認してもらえればと思います。</p>
委員長	<p>他いかがでしょうか。</p> <p>監査報告書について、監査委員からは何か特別なご指摘などはなかったでしょうか。</p>
新市民病院	<p>理事会を通じて意見交換をさせていただきましたが、特段ご指摘はいただいております。</p>
委員長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>収入が伸びて材料費が節約できるというのは非常に素晴らしいところだと思います。昨年医療機器の購入が1億円弱ということで、その額はしばらく続くのでしょうか。昨年2億4,000万円ほど積み立てをして、そういった積み立てを投資に回していかなければならないと思うのですが、今後の見通しについてお伺いできればと思います。</p>
新市民病院	<p>医療機器につきましては、当病院の医療機器の資産総額というのが約30億円程度でございまして、医療機器の耐用年数を6年ということで減価償却しております。もう少し長く、10年くらい使おうとなった時に1年間に3億円くらいずつ更新していくのが妥当かと考えております。ただ、平成27年度の新病院開院のときにまとめて20億円という投資をしており、償還のピークが平成33年まで続きますので、そこまでは最低限の1億円で購入していこうと。その後は出来るだけ減価償却の負担が毎年平準に考えるように、少しずつ上げて毎年一定の額でやれるように計画を立てていこうと考えております。</p>
委員	<p>当医院では減価償却を10年でやっております、資産に準ずるくらいの投資を回していかないとなかなか最新のものが維持できないということがありますのでそういったところもぜひ検討してみてください。</p>
委員長	<p>部門別、医局別に決算を把握しておられますか。ディスポの時代が過ぎてリサイクルがしっかりなされるようになってきました。ある大学では、収入は多いけれど費用がかかってなかなか黒字化できないという状況があり、ディスポではなくリサイクルで対応するシステムに変更したら随分変わってくるという話を聞きました。そのあたりは考察されていますでしょうか。</p>
新市民病院	<p>現在やっているのは、収入の部分について毎月目標を立て取組んでいます。コストについては、病院全体として医療機器を出来るだけ安く購入するようにしています。まだ各診療科には踏み込んではいないところです。</p>
委員長	<p>医療機器も進歩していて、昔はファイバースコープを何本も揃えておかないと消毒が間に合わなかったけれど、今は消毒の技術も進んで1本を短時間で回せるようになってきました。ぜひ細やかに見ていくと対応策があると思いますので。だからといって患者へのクオリティが下がるものではないので、ぜひ研究していただきたいと思います。他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>参考までに、初歩的などころですが人件費がどこにどれだけあるかという把握が重要なところ。もうひとつ、「病棟別原価を出す」というのがあります。</p>

	<p>意外に、急性期に邁進していた病院ですと、どこに経営資源や収入が集中しているかというのが考えずともコントロールできていたりするのですが、病棟編成が変わってくる病院ですと人は集中させているけれど実は一番収入が少ないということもよくありますので、病棟別というものも考えていただけると良いと思います。</p>
委員長	<p>他委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>以上で、本日の審議事項はすべて終了となります。事務局から、今後の評価の進め方について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>評価の進め方についてご説明いたします。皆様におかれましては本日の質疑応答を踏まえ、来週11日水曜日までに資料4の評価シートに病院の自己評価を参考に、5段階評価とコメントをご記入のうえご提出くださいますようお願いいたします。評価の方法は、昨年までと変更はございませんので資料5、6をご参考に評価して頂ければと思います。この評価シートの作成にあたりまして、委員の皆様の特にお願ひしたいのは、5段階評価のみならず右側のコメント欄に多くのご意見をご記入頂きたいと思っております。頂いたコメント等を元に、業務実績報告書を作成いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>また、シートの4ページ目には小項目評価とは別に、財務諸表や全体評価ということでご意見を伺う欄もございますので、併せてご記入の程よろしくお願ひいたします。なお、評価シートにつきましては、メールアドレスの分かる委員の方には事前にデータを送らせて頂きました。皆さまから送って頂いた意見・評価をとりまとめ、第2回目の評価委員会の会議資料としてできる限り事前にお送りしたいと考えております。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力をお願ひいたします。</p> <p>また、本日の会議終了後に、資料の内容等についてご質問等や確認したい点があった場合は事務局までご連絡ください。新市民病院に確認の上、ご回答したいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。委員の皆様、長時間ご審議いただきまして大変ありがとうございました。次回の会議は7月18日午後3時より行います。万が一ご欠席の場合にはご連絡をいただければと思います。</p>

以上